

## 実験・実習の開講計画書

ページ	科目名
1	植物生産一貫実習Ⅱ
2	動物生産システム実験実習Ⅱ (動物生産システム実習Ⅱ)
3	山岳環境保全学演習
4	有機・分析化学系実験
5	動物生命機能学実験
6	植物資源科学実験Ⅰ
7	植物資源科学実験Ⅱ
8	森林利用デザイン
9	木材工学科学演習
10	木材工学園主
11	生産環境計測演習
12	緑地設計製図
13	教職実践演習

## 実験・実習の開講計画書

科目名	植物生産一貫実習Ⅱ				
担当教員	春日 重光				
開講日		月	日	時限	場所等
および	1	10	1	13:00~16:10	AFC農場
時限	2	10	8	13:00~16:10	AFC農場
	3			~	
	4			~	
	5			~	
	6			~	
	7			~	
	8			~	
	9			~	
	10			~	
	11			~	
	12			~	
	13			~	
	14			~	
	15			~	
	16			~	
感染防止	1	・受講生には実施日2週間前までに長野県内の在宅地に戻り、健康観察を行った上で受講することを徹底させる			
対策	2	・不織布マスクを着用する、ただし、屋外での実習の場合、人と十分な距離が確保できる場合には熱中症対策としてマスクをはずして行う			
(3つの密の回避策)	3	・手指消毒、使用前に机・椅子等を消毒する			
	4	・3つの密を回避する取り組みを行う（人との距離を2m離す、1班5人以内とする等）			
	5	・可能であれば常時窓、扉を開放し、少なくとも30分おきに換気をする（数分間2方向）			
	6	・開始前に検温を実施する			
受講学生への連絡事項	体調が優れない場合は、担当教員に連絡した上で、無理して参加しないで下さい。				

## 実験・実習の開講計画書

科目名	動物生産システム実験実習（動物生産システム実習Ⅱ）				
担当教員	今井 裕理子				
開講日		月	日	時限	場所等
および 時限	1	9	30	13:00~16:10	AFC農場
	2	10	7	13:00~16:10	AFC農場
	3			～	
	4			～	
	5			～	
	6			～	
	7			～	
	8			～	
	9			～	
	10			～	
	11			～	
	12			～	
	13			～	
	14			～	
	15			～	
	16			～	
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	・受講生には実施日2週間前までに長野県内の在宅地に戻り、健康観察を行ったうえで受講することを徹底させる。			
	2	・不織布マスクを着用させる。但し、熱中症対策のため、作業時に十分な距離を確保して場合はマスクを外して行う。			
	3	・3密の回避のため、人との距離を2m離し、1班5人以内とする。			
	4	・屋内作業時には窓を開放し換気を行う。			
	5	・開始前の検温とアルコール消毒（手指、机等）を実施する			
受講学生 への 連絡事項	日頃から体調管理と感染予防に努めてください。 体調が優れない時は、担当教員に連絡した上で、無理して参加しないようにしてください。				

## 実験・実習の開講計画書

科目名	山岳環境保全学演習（農学部学生向け）				
担当教員	荒瀬・岡野・内川				
開講日		月	日	時限	場所等
および 時限	1	10		～	オンライン（ガイダンス、山岳環境に関する事前学習）
	2	10	16	8：00～17：50	西駒演習林
	3	10	17	13：00～17：50	手良沢山演習林・萱野高原
	4	10		～	オンライン（演習内容をもとにした事後学習）
	5			～	
	6			～	
	7			～	
	8			～	
	9			～	
	10			～	
	11			～	
	12			～	
	13			～	
	14			～	
	15			～	
	16			～	
感染防止 対策 (3つの密の 回避策)	1	出席確認時に体温・体調を確認。			
	2	教員スタッフ・学生とも、会話や距離が近いときにはマスク着用を義務付け。			
	3	手洗い・うがいのできる水場やトイレの場所を明示。			
	4	バス乗車時には、3密回避のため、定員を遵守し座席指定を行う。			
	5	バス乗降の際には、手の消毒を徹底する。			
	6	バス乗車中、窓を開けて換気に努め、マスク着用と私語を慎むことを徹底させる。			
	7	受講生には実施日2週間前までに長野県内の在宅地に戻り、健康観察を行ったうえで受講することを徹底させる			
受講学生 への 連絡事項	<p>なるべく3密を避ける形で行いますので、短時間で効率的にこなせるよう、教員スタッフの指示や説明に集中してください。</p> <p>感染症防止の観点から、体調不良者や、感染リスクのある者には出席を遠慮してもらいます（出席確認時にチェックします）。</p> <p>また、物品の貸し借りも避けるべきなので、服装・装備・携行品に不備がある場合には参加を認めないことがあります。</p>				

## 実験・実習の開講計画書

科目名	有機分析化学系実験				
担当教員	伊原正喜				
開講日 および 時限		月	日	時限	場所等
	1	9	28	13:00~16:10	第二・第五実験実習室
	2	9	30	13:00~16:10	第二・第五実験実習室
	3	10	1	13:00~16:10	第二・第五実験実習室
	4	10	5	13:00~16:10	第二・第五実験実習室
	5	10	7	13:00~16:10	第二・第五実験実習室
	6	10	8	13:00~16:10	第二・第五実実習験室
	7			~	
	8			~	
	9			~	
	10			~	
	11			~	
	12			~	
	13			~	
	14			~	
	15			~	
	16			~	
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	・受講生には実施日2週間前までに長野県内の在宅地に戻り、健康観察を行った上で受講することを徹底させる			
	2	・不織布マスクを着用する			
	3	・手指消毒、使用前に机・椅子等を消毒する			
	4	・3つの密を回避する取り組みを行う（人との距離を2m離す、1班5人以内とする等）			
	5	・可能であれば常時窓、扉を開放し、少なくとも30分おきに換気をする（数分間2方向）			
	6	・開始前に検温を実施する			
受講学生 への 連絡事項	体調が優れない場合は、担当教員に連絡した上で、無理して参加しないで下さい。				

## 実験・実習の開講計画書

科目名	動物生命機能学実験				
担当教員	米倉真一				
開講日		月	日	時限	場所等
および 時限	1	10	1	3～4	第4実験実習室
	2	10	8	3～4	第4実験実習室
	3			～	
	4			～	
	5			～	
	6			～	
	7			～	
	8			～	
	9			～	
	10			～	
	11			～	
	12			～	
	13			～	
	14			～	
	15			～	
	16			～	
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	ドアと窓を開けたまま実施			
	2	事前配布資料を閲覧することで、学習時間を確保し、実験室滞在時間を短縮する。			
	3	マスクの着用を義務付ける			
	4	開始前に検温とアルコール消毒を実施する。			
	5	受講生には実施日2週間前までに長野県内の在宅地に戻り、健康観察を行ったうえで受講することを徹底させる。			
受講学生 への 連絡事項	マスクの着用をお願いします。				

## 実験・実習の開講計画書

科目名	植物資源科学実験 I				
担当教員	濱渦康範, 齋藤勝晴, 加藤新平				
開講日		月	日	時限	場所等 (第4実験室/30番講義室)
および 時限	1	9	30	3~6	第4実験室 [ガイダンス, 器具の扱い他] (時間差)
	2	10	7	3~6	第4実験室 [土壌物理・化学性 (G1)]
	3	10	14	3~6	第4実験室 [土壌物理・化学性 (G2)]
	4	10	21	3~6	第4実験室 [試薬調製] (時間差)
	5	10	28	3~6	第4実験室 [植物病理学実験1] (時間差)
	6	11	4	3~6	第4実験室 [植物病理学実験2] (時間差)
	7	11	11	3~6	第4実験室 [植物病理学実験3] (時間差)
	8	11	18	3~6	第4実験室 [含有成分調査1+2 (G1)]
	9	12	2	3~6	第4実験室 [含有成分調査1+2 (G2)]
	10	12	9	3~6	第4実験室 [含有成分調査3+4 (G1)]
	11	12	16	3~6	第4実験室 [含有成分調査3+4 (G2)]
	12	12	23	3~6	30番講義室 [レポート作成]
	13	1	6	3~6	第4実験室 [微生物解析 (G2 → G1)]
	14	1	13	3~6	30番講義室 [バイオインフォマティクス]
	15	1	20	3~6	30番講義室 [総括・復習]
	16			~	
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	2グループ (G1 = 前半 および G2 = 後半) に分け, 時間差で, あるいは日を変えて実施する。			
	2	1班3名以内とし, 正面で向かい合っの座席配置としない。			
	3	マスクを着用する。			
	4	定期的に換気を実施する。			
	5	受講生には実施日2週間前までに長野県内の在宅地に戻り, 健康観察を行ったうえで受講することを徹底させる。			
	6	開始前に検温と手指消毒を行い, 机・椅子等を消毒する			
受講学生 への 連絡事項	<p>「生物分析化学」の内容と実験実習内容が関連しています。          事前にeALPS上で「生物分析化学」の講義資料にアクセスし, 十分に実験の予習をしてから参加して下さい。          実験当日は, 実験ノート, 白衣およびマスクを持参してください。          実験ノートは生協購買部にある黄色表紙の方眼タイプを事前に購入して下さい。</p>				

## 実験・実習の開講計画書

科目名	植物資源科学実験 II				
担当教員	入枝泰樹、阿久津雅子、大迫祐太郎、小林みずき、浜野充				
開講日		月	日	時限	場所等
および 時限	1	9	28	13:30~17:00	第4実験実習室・30番講義室/植物感染生理学実験1
	2	10	5	13:30~17:00	第4実験実習室・30番講義室/植物感染生理学実験2
	3	10	12	13:30~17:00	第4実験実習室・30番講義室/植物感染生理学実験3
	4	10	19	13:30~17:00	第4実験実習室・30番講義室/植物感染生理学実験4
	5	10	26	13:30~17:00	第4実験実習室・30番講義室/園芸学実験1
	6	11	2	13:30~17:00	第4実験実習室・30番講義室/園芸学実験2
	7	11	9	13:30~17:00	第4実験実習室・30番講義室/園芸学実験3
	8	11	16	13:30~17:00	第4実験実習室・30番講義室/園芸学実験4
	9	11	25	13:30~17:00	第4実験実習室・30番講義室/果樹園芸学実験1
	10	11	30	13:30~17:00	第4実験実習室・30番講義室/果樹園芸学実験1
	11	12	7	13:30~17:00	第4実験実習室・30番講義室/農業経済学実験1
	12	12	14	13:30~17:00	第4実験実習室・30番講義室/国際地域開発学実験1
	13	12	21	13:30~17:00	第4実験実習室・30番講義室/国際地域開発学実験2
	14	1	11	13:30~17:00	第4実験実習室・30番講義室/農業経済学実験2
	15	1	18	13:30~17:00	30番講義室/総括・復習
	16			~	
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	30番講義室のみ、もしくは第4実験実習室と30番講義室の2会場に分けて実施する。			
	2	実験台1台あたり3名以内とし、正面で向かい合っの座席配置としない。			
	3	窓を開けて換気する。			
	4	マスクを着用する。			
	5	受講生には実施日2週間前までに長野県内の在宅地に戻り、健康観察を行ったうえで受講することを徹底させる			
	6	検温、手指消毒、使用前に机・椅子等の消毒を行う			
受講学生 への 連絡事項	各回の開始は30番講義室に集合してください。				



## 実験・実習の開講計画書

科目名	森林利用デザイン				
担当教員	植木 達人				
開講日		月	日	時限	場所等
および 時限	1	10	1	8時30分～17時00分	手良沢山演習林
	2		8	8時30分～17時00分	手良沢山演習林
	3		15	8時30分～17時00分	手良沢山演習林
	4		22	8時30分～17時00分	手良沢山演習林と東俣国有林
	5		29	8時30分～17時00分	手良沢山演習林
	6	11	5	8時30分～17時00分	手良沢山演習林
	7		12	8時30分～17時00分	手良沢山演習林
	8		19	8時30分～17時00分	手良沢山演習林
	9			～	
	10			～	
	11			～	
	12			～	
	13			～	
	14			～	
	15			～	
	16			～	
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	出席時に体温及び体調の確認をする			
	2	教職員・学生とも会話や距離が近い場合はマスクの着用を義務付ける			
	3	バスに乗車の際は、3密回避のために乗車定員の半分程度の乗車数にする			
	4	バスに乗車の際には、手指消毒を徹底させる			
	5	バス乗車の際には換気に努め、マスク着用と私語を慎むことを徹底する			
	6	受講生には実施日2週間前までに長野県内の在宅地に戻り、健康観察を行ったうえで受講することを徹底させる。			
受講学生 への 連絡事項	<p>なるべく3密を避ける形で行いますので、短時間で効率的にこなせるよう、教員スタッフの指示や説明に集中してください。</p> <p>感染症防止の観点から、体調不良者や、感染リスクのある者には出席を遠慮してもらいます（出席確認時にチェックします）。</p> <p>また、服装・装備・携行品に不備がある場合には参加を認めないことがあります。</p>				

## 実験・実習の開講計画書

科目名	木材科学演習				
担当教員	安江, 細尾				
開講日 および 時限		月	日	時限	場所等
	1	9	30	3~4	第一実験実習室 (B実験棟 3階)
	2	10	7	~	第一実験実習室 (B実験棟 3階)
	3		14	~	第一実験実習室 (B実験棟 3階)
	4		21	~	第一実験実習室 (B実験棟 3階)
	5		28	~	第一実験実習室 (B実験棟 3階)
	6	11	4	~	第一実験実習室 (B実験棟 3階)
	7		11	~	第一実験実習室 (B実験棟 3階)
	8		18	~	第一実験実習室 (B実験棟 3階)
	9	12	2	~	第一実験実習室 (B実験棟 3階)
	10		9	~	工場等見学
	11		16	~	第一実験実習室 (B実験棟 3階)
	12		23	~	第一実験実習室 (B実験棟 3階)
	13	1	6	~	第一実験実習室 (B実験棟 3階)
	14		13	~	第一実験実習室 (B実験棟 3階)
	15		20	~	第一実験実習室 (B実験棟 3階)
	16			~	
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	定員に対し, 十分少ない受講者 (約30/80名)			
	2	座席指定			
	3	換気の徹底			
	4	手指消毒の徹底			
	5	マスク着用			
	6	12/9工場見学は学バスと学用車使用。乗車定員遵守, 窓の開放			
	7	開始前に検温を実施			
	8	受講生には実施日2週間前までに長野県内の在宅地に戻り、健康観察を行ったうえで受講することを徹底させる。			
受講学生 への 連絡事項					

## 実験・実習の開講計画書

科目名	木材工学演習			
担当教員	細尾 他（細尾・安江）			
開講日	月	日	時限	場所等
および	1	10/1	1～5限	木材加工実習室、屋外（班分け、安全講習、製材、皮むき、自動カンナ盤加工、ベンチ見学・作製ベンチ決定、木取・刻み）
時限	2	10/8	1～5限	木材加工実習室、屋外（木材経過観察、手道具説明、刻み、ノミ加工、仮組）
	3	10/15	1～5限	木材加工実習室、屋外（木材経過観察、電動工具説明、本組、背もたれ・肘掛け加工）
	4	10/22	1～5限	木材加工実習室、屋外、苗畑管理室（木材経過観察、背もたれ・肘掛け取り付け、仕上げ、塗装、後片付け、掃除、総括、授業アンケート実施）
感染防止 対策 (3つの密の回避策)	1	受講生を4～5名の班に分け、班間、班員間の距離を十分取って作業を行う。		
	2	室内での演習時はマスクを着用し、定期的に窓を開けて換気する。		
	3	人と人の距離を1m以上離す。		
	4	消毒用アルコール、非接触式体温計を用意し、消毒と検温を行う。		
	5	晴天時は、加工作業は屋外で行う。		
	6	雨天時は苗畑管理室で作業を行うなど、広い作業スペース、十分な人と人の距離を確保する。		
	7	受講生には実施日2週間前までに長野県内の在宅地に戻り、健康観察を行ったうえで受講することを徹底させる。		
	8	その他、「令和3年度農学部専門科目実施に関する基本方針」の内容を順守する。		
受講学生 への 連絡事項	<p>第1回（10/1）の集合場所：木材加工実習室（F棟1階、30番講義室の下）</p> <p>&lt;服装&gt;</p> <p>①必ず作業着（寒暖差が激しい時期ですのでその対応を）          ②靴：動きやすいスニーカーなど          ③背抜きのゴム手袋かすべり止め付軍手          ④髪の長い人は後ろで束ねるか手ぬぐいで縛る</p> <p>&lt;持ち物&gt;</p> <p>①バインダー・手袋・マスク          ②コンベックス・濃い鉛筆（持っている人は持参願います）</p> <p>・遅刻・早退なく全日程に出席すること（初回も含め、欠席・遅刻・早退は厳禁）          ・履修登録した人は、eALPSの「木材工学演習」コースにアクセスし、事前学習（安全教育）用の動画を視聴し、その内容を理解しておくこと</p> <p>※以上の内容はシラバスに掲載済み</p>			

## 実験・実習の開講計画書

科目名	生産環境計測演習				
担当教員	鈴木純				
開講日		月	日	時限	場所等
および	1	10	1	1~5	土木材料実験室
時限	2	10	8	1~5	土木材料実験室
	3			~	
	4			~	
	5			~	
	6			~	
	7			~	
	8			~	
	9			~	
	10			~	
	11			~	
	12			~	
	13			~	
	14			~	
	15			~	
	16			~	
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	受講人数を最大18人（2年次生）とする			
	2	例年と同様に野外作業が中心となる			
	3	授業開始時には入口で体温計測を徹底するとともに、入退出時には手指消毒を行う			
	4	不織布マスクの着用を徹底する			
	5	体調不良者は退出させる			
	6	受講生には実施日2週間前までに長野県内の在宅地に戻り、健康観察を行ったうえで受講することを徹底させる			
	7	上記のほか必要な対応を行う			
受講学生 への 連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染防止のほか砂塵の吸い込みを防止するため、複数枚の不織布マスクを用意して参加してください。</li> <li>・ 受講希望者は、9月30日（木） 17時までに必ず履修登録を行うこと。</li> <li>・ 履修登録確認・訂正期間には登録できません。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染防止（3密回避）のため、受講希望者が多数の場合は抽選等により受講者を決定することがあります（18名程度、9月30日 17時までに履修登録を行わないと抽選になった場合に対象となりません）</li> </ul>				

## 実験・実習の開講計画書

科目名	緑地設計製図				
担当教員	上原三知				
開講日	月	日	時限	場所等	
および	1	10	1	1~5	現地調査 解析 構想作り 午後敷地視察
時限	2	10	8	1~5	基本方針、及び空間構成の検討 施設のイメージの作成 午後敷地視察
	3	10	15	1~5	既存の公園紹介
	4	10	22	1~5	造成計画 動線計画、施設計画 植栽計画 の作成
	5	10	29	1~5	基本計画のまとめ(中間発表)
	6	11	5	1~5	完成予想模型作製
	7	11	12	1~5	完成予想模型完成
	8	11	19	1~5	成果のプレゼンテーション / 授業アンケート
	9			~	
	10			~	
	11			~	
	12			~	
	13			~	
	14			~	
	15			~	
	16			~	
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1 1班5名以下とし、各人2m以上の間隔をとる。				
	2 マスクを着用する。				
	3 消毒用アルコールにより、適宜、手先の消毒を行う。				
	4 受講生は例年22名以下のため、座席を離し、換気に留意しバスを利用。				
	5 開始前に検温を実施する。				
	6 受講生には実施日2週間前までに長野県内の在宅地に戻り、健康観察を行ったうえで受講することを徹底させる。				
受講学生 への 連絡事項	<p>実施開始の2週間前までに必ず長野県内の在宅地に戻り、健康観察を行った上で受講してください。</p> <p>模型制作による発表が必須になりますので、材料費が実費で必要になります。</p> <p>例年1人あたり2000円程度かかります。</p> <p>第1回目、2回めは午後、計画敷地の調査(高遠 露頭公園)に行く予定ですので、ハチやヤブに入れる格好と、雨具、記録用の筆記具、カメラ等を持参ください。</p>				

## 実験・実習の開講計画書

科目名	教職実践演習				
担当教員	小山茂喜				
開講日		月	日	時限	場所等
および 時限	1	9	27	5	14番講義室
	2			～	
	3			～	
	4			～	
	5			～	
	6			～	
	7			～	
	8			～	
	9			～	
	10			～	
	11			～	
	12			～	
	13			～	
	14			～	
	15			～	
	16			～	
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	授業前と授業中の換気、学生個々の検温・消毒、授業時の学生間の距離を十分にとる。			
	2	校外での授業参観の指導なので、具体的な指導を短時間で行う。			
	3	受講生には実施日2週間前までに長野県内の在宅地に戻り、健康観察を行ったうえで受講することを徹底させる			
受講学生 への 連絡事項	<p>教室に来る前に、体温確認を行い、マスクを着けて来る。          体調のすぐれない学生は、後日個別に対応する。          教室に入る際に手指の消毒を行い、授業後は机を消毒する。</p>				